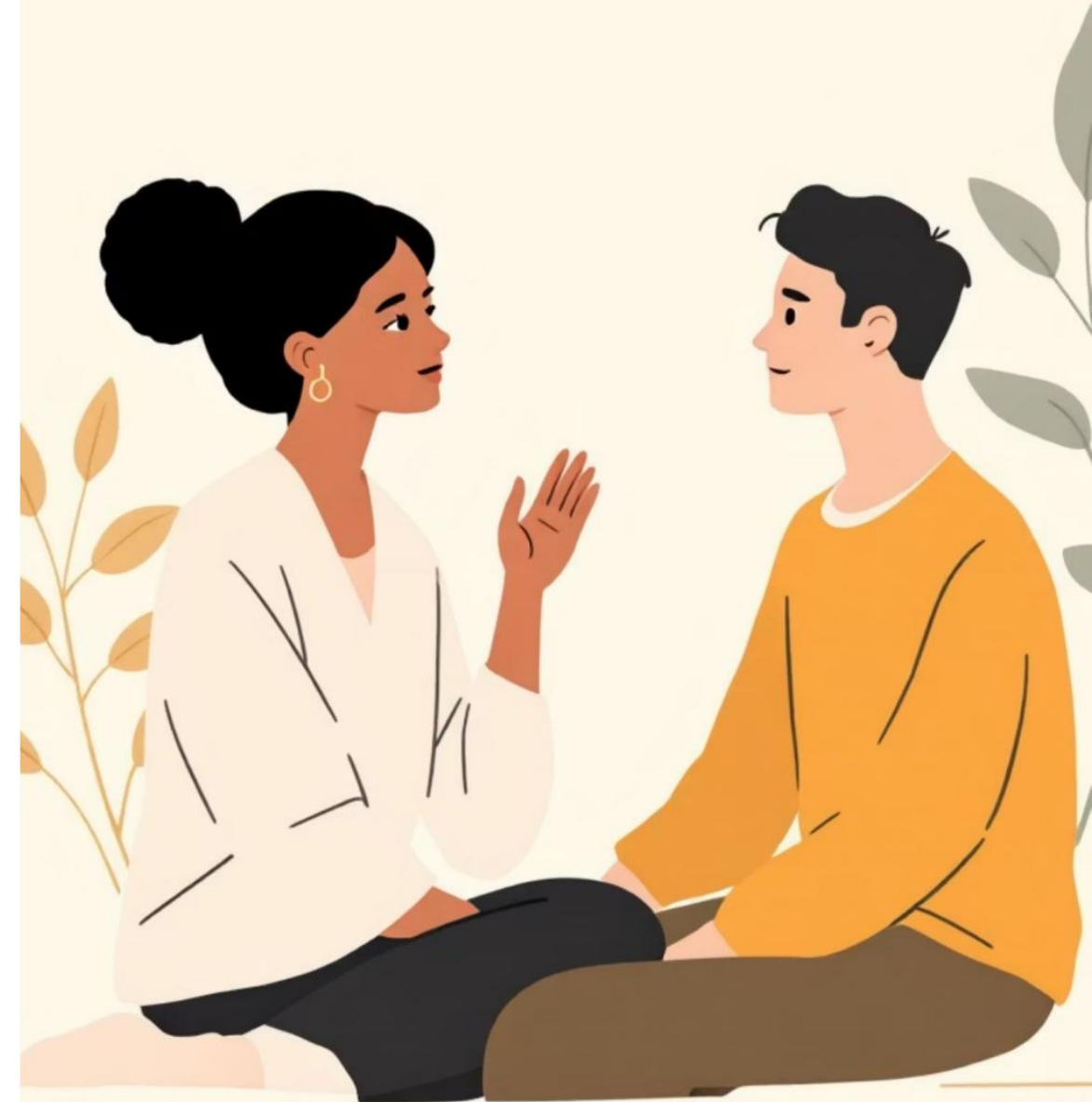


聴聞と共感のスキル – 心に近づく相談

真実を言う前に、まず耳を傾けてください。

キリスト教のカウンセラーは、話すことができる人ではなく、よく聞く人です。聴聞は内談者を愛する具体的な行為であり、真理のための道を開く門です。



私が本当に聞いた瞬間

助言してください

「私が誰かに本当に心から聞いた経験はいつでしたか？」

「なぜ私たちは聞くよりも話すのが好きですか？」

聴聞の重要性

箴言18:13 「事実を聞く前に答える人は愚かで貪欲になる」

キリスト教の相談における聴聞と共感の意味

聞く :神の方法で聞く

- 表面だけではなく「心霊を聞く」
- 聞く態度自体が癒しを提供する

共感 :判断なしと一緒に痛みを伴う

- 担当者の感情に深くつながる
 - 「あなたができた」
心の姿勢
- 共感は深い連合、同情は距離維持



基礎カウンセリング技術 : 聴聞と反映



積極的に聞く

言葉だけでなく、体、目、表情でも聞く

担当者の言葉に反応を示すリスニング

相談者に必要な「沈黙の勇気」



反映技術

感情の反映：「怒ってしまいました」

内容反映：「つまり、友達が無視したと感じたんですね」

反映は、私のキャリアが自分の心を見直すのを助ける「鏡の役割」

効果的な質問をする

開かれた質問

「その時どんな気持ちでしたか？」

担当者が自由に表現できる機会を提供

閉じた質問

「あの時、怒ってたの？」

特定の情報を確認または明確にするときに
使用

探索的な質問

「そのことが今の感情とどんなつながりを持っていると感じますか？」

より深い洞察とつながりを導く質問



イエスの相談的な態度

本文	カウンセリング技術
ヨハネ4章サマリアの女性	オープン質問、アイデンティティ回復、人格聴取
ルカ24章エマオ弟子	感情の反映、質問、真理を提示する前に十分に聞く
ちょうど10枚ボディメヨ	「あなたに何をしたいですか？」（明確な質問と尊重）

カウンセラーの精神的な態度

- 内担者を神の形で尊重
- 罪を犯さずに恵みで反応
- 「聞くために聞く」 – 聖霊の導きに敏感

事例の適用：家族の疎外感を感じる内担者

「担い手Aは家族の集まりで常に疎外感を感じるという。言葉はしないが、自分を無視して排除すると感じる。」

1

感情を反映

「家族の集まりで疎外感を感じて無視されていると感じていますね。」

2

適切な質問

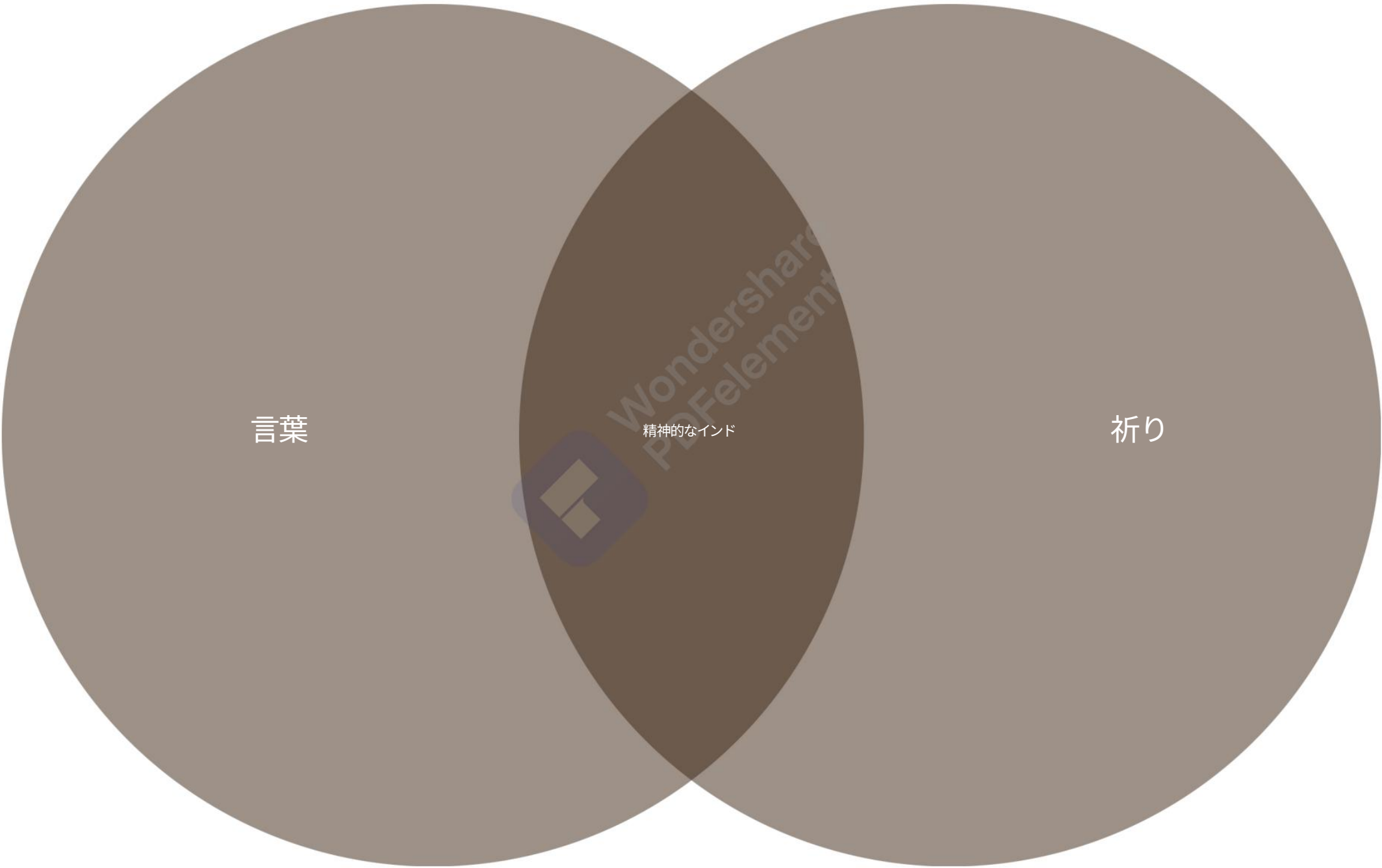
「家族の中であなたの感情を理解できる人がいますか？」

3

聴聞態度

判断せずに内担者の感情に集中し、家族関係での傷を認めてくれる態度で聞く。

みことばと祈り、相談の道具か出会いか？



みことばと祈りの統合的適用

みことばの役割

- 真理の鏡 :内担者の歪んだ考え、アイデンティティを矯正
- 回復の根拠 :詩篇、福音書のイエス様の言葉
- アイデンティティ宣言 : 「私はキリストの中で新しい創造物です」 (コリ5 :17)

祈りの役割

- カウンセリングの前:相談者のための中報の祈り
- 相談中:一緒にいただく短い祈り
- 相談後 :相談者が再び黙想する時間

「祈りは相談が終わる時間ではなく、神の働きが続く通路です」。



自尊心の問題を持つ内担者の事例

内担者は長い間自尊心問題に苦しんでいる。幼い頃、親から「君はいつも足りない」という言葉をよく聞いた。「神様もわたしをそう見ますね…」と泣いている。

適用可能な言葉

詩篇139:14 「わたしが主に感謝したのは、私を建てるのがひどく奇妙だ」

祈りの例

「神様、この子どもが両親の言葉ではなく、あなたの視線で自分を見るのを手伝ってください。」

相談者の態度

内担者の傷を認め、神様の観点から彼の価値を確認してくださる態度。急いで慰めより十分な聞き取りを通じて信頼関係を形成する。

